

Chapter 5 用語集

◆用語集の記載内容については、令和7年12月時点で公表されているものを掲載しています。

イノベーション

- 技術革新。社会の変革のこと。

海の駅

- プレジャーボート、ヨットなど海上からの来訪者のために「いつでも、誰でも、気軽に、安心して立ち寄り、利用でき、憩える（船を着けられる・陸に上げられる・船に乗れる）港（場）」です。
- 長崎市では、長崎サンセットマリナがある。

カーボンニュートラル

- 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。

関係人口

- 移住や観光でもなく、単なる帰省でもない、日常生活圏や通勤圏以外の特定の地域と継続的かつ多様な形で関わり、地域の課題の解決に資する人などのことをいう。

既存ストック

- 既に整備されている道路、公園、下水道などの都市基盤施設や、住宅、商業施設、業務施設、工業施設など。

グリーンスローモビリティ

- 時速20km未満で公道を走ることができる、電動車を活用した、小さな移動サービスのこと。

高規格道路

- 高速自動車国道等と一体となって自動車高速交通網を形成する自動車専用道路、もしくは同様の規格を有する道路のこと。

交通需要マネジメント

- 車の利用者の交通行動の変化を促すことにより、都市または地域レベルの道路交通混雑を緩和する手法の体系であり、道路渋滞、自動車排ガス問題などへの対応として、一人乗りマイカー通勤の削減、公共交通機関への転換、時差通勤など交通需要側への規制、誘導、啓発によって解決しようとするもの。

コミュニティバス

- 旧合併町及び交通が不便な地域で、地域住民の移動手段を確保するために、長崎市が運行費の一部を補助して運行する路線バスとして、本土の北部地域や南部地域及び離島部などで運行している。

合計特殊出生率

- 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。

コワーキングスペース

- 様々な事業者が空間を共有しながら仕事を行うスペースのこと。
- 各利用者の作業スペースであるとともに、利用者同士の交流の場ともなっており、活発なコミュニケーションを通じて新たなビジネスチャンスを創造する効果も期待されている。

市街化区域

- 区域区分が行われた都市計画区域において、すでに市街地を形成している区域及びおおむね十年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域のこと。

市街化調整区域

- 区域区分が行われた都市計画区域において、市街化を抑制すべき区域のこと。

シュガーロード

- 江戸時代、海外貿易の窓口であった長崎と小倉を結ぶ長崎街道は、多くの人々で賑わい、海外からの新たな文化・技術が街道を通過して全国へ広まった。砂糖やお菓子文化も街道を通過して広まったことから、長崎街道は「シュガーロード」と呼ばれている。

自動運転

- 運転者ではなくシステムが、運転操作に関わる認知、予測、判断、操作の全てを代替して行い、車両を自動で走らせること。
- 自動運転レベルは、レベル0からレベル5の6段階に分類されている。

スマートシティ

- 都市の抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理・運営等）が行われ、全体最適化が図られる持続可能性な都市または地区のこと。

ステークホルダー

- 一般的には利害関係者のことを指す。計画に関わるすべての関係者を指す概念であり、市民の他、企業、道路利用者、関係行政機関等を含む幅広い主体を含む総称のこと。

テレワーク

- 情報通信技術（ICT）を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。
- テレワークは、ワークライフバランスの改善や出産や介護などライフステージの変化に伴う人材の離職防止、仕事の生産性向上、通勤混雑の緩和、地域活性化など、多方面に良い影響をもたらすことが期待されている。

2バース化

- 現在1隻のクルーズ船が停泊できる岸壁を拡張し、2隻同時の停泊を可能とする事業。

◆用語集の記載内容については、令和7年12月時点で公表されているものを掲載しています。

伝統的建造物群保存地区

- 文化財保護法により規定される都市計画法上の地域地区の1つで、伝統的建造物群およびそれと一体となって歴史的風致を形成している環境を保存するために定められる地区。市町村は伝統的建造物群保存地区を決定し、保存条例に基づき保存計画を定める。国は市町村からの申出を受けて、我が国にとって価値が高いと判断したものを重要伝統的建造物群保存地区に選定する。
- 長崎市では、平成3年4月に「東山手地区」「南山手地区」が国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されている。

特定第3種漁港

- 利用範囲が全国的な漁港のうち、水産業の振興上、特に重要であるとして漁港漁場整備法の政令で定められたもの。
- 全国では13の漁港が指定されており、長崎県では長崎市にある長崎漁港が該当している。

ながさきサンセットロード

- 長崎県西部の美しい海岸沿いの道路をメインとしたルートで、日本風景街道に認定されている。
- 沿線地域の夕日や教会、橋などの魅力に溢れている。

長崎南北幹線道路

- 起点の長崎市田上から終点の時津町に至る計画延長約15kmの高規格道路のこと。

二次交通

- 拠点となる鉄道駅等から目的地までの交通手段。路線バスや路面電車、タクシーなど。

二地域居住

- 都市部と地方部に2つの拠点をもち、定期的に地方部でのんびり過ごしたり、仕事をしたりする新しいライフスタイルの一つ。

歩行者利便増進道路（ほこみち）

- 賑わいのある道路の構築のための道路の指定制度のこと。
- 本制度の活用により、道路空間を街の活性化に活用したり、歩道にカフェやベンチを置いて滞在空間を創出できるなど、通行を中心とした道路から、人の滞在もしやすい道路空間にできる。

「ハブ&スポーク型」ネットワーク

- 幹線の系統分岐点付近に乗り継ぎ拠点（ハブ）を設け、乗継拠点から生活拠点（スポーク）ごとに分けて運行するもの。

まちづくりGX

- 地球的・国家的規模の課題である気候変動への対応（CO2の吸収、エネルギーの効率化、暑熱対策等）や生物多様性の確保（生物の生息・生育環境の確保等）に加えて、コロナ禍を契機とした人々のライフスタイルの変化を受けたWell-beingの向上（健康の増進、良好な子育て環境等）の社会的要請に対応するため、これらに対し大きな役割を有している都市緑地の多様な機能の発揮を図るための取組等を進めていくこと。

MaaS（マース：Mobility as a Service）

- 地域住民や旅行者一人一人のトリップ（ある1つの目的での、出発地から到着地までの移動）単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスです。
- MaaSによるサービスでは、スマートフォンのアプリを立ち上げれば、出発地から目的地までの交通手段の検索から予約・支払いまでができ、さらには、観光案内、飲食店やホテルの予約・支払い、または病院や行政サービスなどの予約・支払いも一括して行うことが可能となる。

ライドシェア

- ライドシェアとは、一般ドライバーが自家用車を活用して、有償で乗客を運ぶサービス。
- 日本版ライドシェアは、タクシーが不足する地域・時期・時間帯にタクシー事業者の管理下で自家用車と一般ドライバーを活用して提供するサービスのこと。（令和6年3月創設）
- 公共ライドシェアは、バスやタクシー輸送が困難な場合に、市町村やNPO法人などが、自家用車を活用して提供するサービスのこと。

ワークライフバランス

- 「仕事と生活の調和」を図ることをいう。

ワーケーション

- Work(仕事)とVacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、普段の職場や自宅とは異なる場所で仕事をしつつ、自分の時間も過ごすことをいう。

AI（Artificial Intelligence）

- 人工知能。コンピューターを使って、学習・推理・判断など人間の知能の動きを人工的に実現したもの。

AIオンデマンド交通

- AIを活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステムをいう。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）

- 「デジタルによる変革」を意味し、ITの進化にともなって新たなサービスやビジネスモデルを展開することでコストを削減し、働き方改革や社会そのものの変革につなげる施策を総称したもの。

ICT（Information and Communication Technology）

- 情報通信技術。

NPO

- 様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。

Park-PFI（公募設置管理制度）

- 平成29年の都市公園法改正により新たに設けられた制度。
- 都市公園において飲食店、売店などの公園施設（公募対象公園施設）の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場等（特定公園施設）の整備・改修等を一体的に行う民間事業者を、公募で選定する制度のこと。